

# 地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第53号

## 新たな地域医療患者支援センター・ がん相談支援センター体制について

センター長 島田 洋一



昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの社会活動が制限を受ける中、病院業務も大きな見直しを迫られています。秋田大学医学部附属病院では、2019年4月に入院支援センターが立ち上がり、これまでの地域医療患者支援センター・がん相談支援センターと両輪で患者支援にあたってきました。しかし、支援をシームレスに運び、より効率を高めるため、両センターを統合し、新たな地域医療患者支援センター・がん相談支援センターを運用するに至りました。構成は、入院支援部門、地域医療連携部門、がん・遺伝相談部門、相談支援部門の4つからなり、それぞれに専門スタッフを配置しています。がん・遺伝相談部門には遺伝看護専門看護師が、相談支援部門には難病コーディネーターが常勤しています。次年度からはさらにがん・遺伝相談部門にがん相談専門看護師が配属されます。

これまで手狭であったスタッフ事務室は附属病院3階に移転し、入院前支援部門と後方支援部門が同じフロアとなり、情報共有・連携が図りやすくなりました。診療端末が増えて、対応記録、看護記録も入力しやすい環境となりました。十分な広さの中でカンファレンスや話し合いが随時可能になったことは業務効率化に繋がっています。これまで1室であった相談ブースは6室に順次増やす予定です。

がん患者支援の取り組みも新型コロナウイルス感染拡大に伴い一律面談とはいかない事情をいずれの病院も抱えています。患者さん、ご家族への切れ目ない支援を行うためにオンラインを用いた新たな形を模索しています。更に発展させなくてはならないと考えています。

多くの医療情報を効率よくまとめ、患者さんの目線に立った支援は、新たな地域医療患者支援センター・がん相談支援センターに課された大きな命題です。センターは「附属病院の要」であり、センターが病院を動かすという気概を持ってスタッフ一同全力を尽くす所存ですので、みなさまのご支援をお願い申し上げます。

よろしくお祈りします



1階総合受付の右側に、当センターの受付があります

# 令和2年度第1回秋田大学医学部附属病院がんサロン開催報告

日時：令和3年3月11日（木）14：00～15：00

方法：オンライン会議（ZOOM）

申込：7名 参加状況：6名



「コロナ禍におけるがん治療、通院、生活上の不安と工夫について」をテーマに、医師によるミニ講演と参加者によるフリートークを行いました。はじめてのオンライン開催でしたが、参加された方々からは概ね良好な反応がありました。個人情報にも配慮し、大きなトラブルなく開催することが出来ました。今後も社会情勢に合わせて柔軟に対応し、がんサロンを企画していきたいと思えます。

## 《ご意見・ご感想》

- ・ワクチンのことや他のご家族の方のお話も伺うことが出来てよかったです
- ・オンラインでは家族の参加が多いのには驚きました
- ・初めての体験でしたが、一人一人に質問をなげかけてくださったので、発言しやすかったと思います
- ・回数を重ねて慣れてもう少し意見交換、参加者同士で会話ができるようになりたいです

## 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター事務室2の移転

令和3年2月6日（土）、センター事務室2が外来棟3階に移転しました。おかげさまで、長年の願いであった広いフロアで、業務ができるようになりました。新しい環境のもと、スタッフ一同、気持ちが高揚しています。今後も、より一層、センター業務に精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 異動となるスタッフより

### 熊澤祐子さん

約6年間、センターにお世話になりました。この期間、育児、親の闘病生活などの大変な時期をスタッフの皆さんに本当に恵まれ乗り越えることができました。入院は患者さんにとって非日常です。それを、退院後、患者さんの主体の日常の生活にどうすり合わせていくか、たくさん学ばせていただきました。ここで経験できたことを、今後も生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



## 新規採用のスタッフより

### 川村直子さん（難病診療連携コーディネーター）

難病診療連携コーディネーターの川村です。難病を抱えている方、そのご家族が、地域で適切な医療を受けながら安心して暮らすことができるよう、努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

